広報
みさわ
10月号
2011年（平成23年）
No.684

百年のシルシ
…… 2～3P

翼はどこまでも
…… 4～5P

■市政の動き…… 6～11P
■議会だより……12～17P
■マックチャンネルガイド……18～19P
■出来事通信……20～21P
■みさわ情報ネット……22～27P
■県立三沢商業高校　就業体験……28P

敬老会

9月18日　公会堂

今年100歳に到達された小島イソさん。駆け付けた親しい人たちの手を握り、祝福の言葉に顔をほころばせた。

百年のシルシ

1

長寿を祝う

9月18日、敬老の日、公会堂において第48回三沢市敬老会が開催された。

式典冒頭では、長年にわたり社会に貢献し亡くなられた方々の冥福を祈り、出席者全員で黙とうを捧げ、主催者を代表して種市市長が式辞。「ご長寿の陰にはご家族や周囲の方々の支えがあったものと拝察し、心より敬意を表します。多くの苦難を乗り越えて今日の豊かな社会を築いてきた皆さまの豊富な社会経験はこの国の財産。その見識をもって地域社会への参加と災害復旧・復興へのご支援を賜りたい」と話し、心からの長寿を祝福する言葉を贈った。

贈呈式では、まず三村青森県知事から100歳到達者を代表して小島イソさんに内閣総理大臣祝状と県知事顕彰状が、88歳到達者夫婦を代表して野呂萬作さん・ソノさん夫妻に県知事顕彰状が手渡された。続いて種市市長から80歳到達者を代表して傳法頴司(えいじ)さんに顕彰状が、福祉活動に功労および協力があった個人に表彰状や感謝状が手渡され、その功績をたたえた。

式典の最後には、傳法さんが全ての受賞者を代表して「今日まで元気に過ごせたことを両親に感謝し、育んでくれた三沢の風土と包容力に感謝しています。これからは地域社会とのつながりを深め、生きる目的を見定めて生活していきたいと思っています」と感謝と地域貢献への決意を伝えた。

今年、敬老会の招待を受けた、市内在住で70歳以上の方は6千539人。会場には約700人が出席し、式典終了後に披露された老人クラブ連合会による祝いの舞を楽しみ、記念品を手にして帰路についた。

2

1 三村青森県知事から内閣総理大臣賞を受け取る小島イソさん
2 共に88歳に到達した野呂さん夫妻に県知事顕彰状が手渡された
3 80歳長寿者を代表し種市市長から顕彰状を受け取る傳法頴司さん
4 式典終了後、老人クラブ連合会による美しい舞が披露される
5 会場には700人もの参加者や関係者が駆けつけ、受賞者を祝福

3

4

5

100歳到達者

明治44年4月1日から45年3月31日までに生まれた方

伊沢 ミキ さん	桜町3丁目
及川 たつ さん	南町3丁目
河村 トキヨ さん	鹿中3丁目
小島 イソ さん	鹿中2丁目
下舘 はな さん	字古間木山
種市 トメ さん	深谷3丁目
堀内 キノ さん	細谷4丁目

88歳到達者

夫婦どちらか一方が大正12年4月1日から13年3月31日までに生まれ、かつともに満88歳以上となるご夫婦

斎藤 敬市 さん・みくに さん	千代田町3丁目
坂口 良次 さん・とき子 さん	幸町1丁目
田中 武二 さん・ツヤ さん	堀口2丁目
野呂 萬作 さん・ソノ さん	東岡三沢1丁目
長谷川 松太郎 さん・庸子 さん	新町2丁目
吉田 十右ェ門 さん・キミ さん	新森2丁目

80歳到達者

傳法 頴司 さん　ほか369人

市長表彰状・感謝状贈呈者

佐藤 好子 さん	老人クラブ活動功労者
蒔苗 美穂子 さん	
山﨑 善八 さん	
上村 京子 さん	老人施設奉仕者
八木 恵美 さん	
山田 昭子 さん	社会福祉事業協力者

百年のシルシ

敬老会が終わった後、鹿中にある小島イソさん宅では、家族や親せきが一族の長を祝福する宴が催された。

イソさんは今までほとんど病気にかかったこともなく、県内外に暮らす5人の子、13人の孫、10人のひ孫たちに愛されて暮らしている。小学校4年生になるひ孫の乃(だい)君は最近、少年野球を始め、時折りその勇姿を見せに来るという。「目に入れても痛くない」。イソさんの家族を愛おしむ気持ちが伝わってきた。

「この上ない幸せ」――。100歳に達したことを祝福されたイソさんは、目を細めて微笑みながら素直な気持ちを口にした。その表情には百年という長い時間と、その間の想いによって刻まれた無数のしわが浮かぶ。喜びも悲しみも全て含めた、百年の印(シルシ)。

▲大きな声で100年の思い出を話してくれる小島イソさん

地域の宝

三沢市における80歳以上の方は2千498人、うち100歳代は12人。「お年寄り1人は図書館ひとつに相当する」とも言われる。時代が変わるにつれて新しく得られる知識は多いが、忘れられていくものも多いのではないだろうか。

温故知新の思いを忘れず、お年寄りを地域の宝として大事にし、これからも元気に若い世代に経験と知恵を伝えていただきたい。

▲小島イソさん（中央）を囲み100歳到達を祝う家族や親せきたち

翼はどこまでも

ミス・ビードル号復元機 記念飛行

80年前の偉業を記念して

その日、大空ひろばでは多くの人が空を見上げていた。空は真っ黒な雲に覆われ、雨粒が人々の顔を打つ。それでも人々の目には確かな希望が映っている。紅い翼の希望が…。

8月18日、ミス・ビードル号の復元機による記念飛行が行われた。これはミス・ビードル号が太平洋無着陸横断飛行を成功させてから今年で80周年になることを記念して行われたもの。記念飛行に先駆けて大空ひろばで記念式典が行われ、近くに展示された復元機は市内外から集まった大勢の来場者の注目の的。その勇姿を何枚も写真に撮っている様子が見られた。同機を所有するスピリット・オブ・ウェナッチのスコット・カーター会長らが機体に乗り込み滑走路に向かうと、会場からは大きな歓声があがり、午前11時過ぎ、日米から集まった多くの関係者と航空ファンが見守る中、同機は三沢の空に飛び立った。

この日、あいにくの雨空となった三沢市。厚い雲が立ち込め雨でかすむ中、集まった人々はミス・ビードル号を探すのに苦労している様子だったが、独特のプロペラ音を追い紅い機体を見つけると、大人も子どもも目を輝かせ、濡れるのも構わず一心に機体を追いかけていた。

様々な人々の心に

記念飛行を見た月舘八郎さんは、80年前にミス・ビードル号が淋代海岸を飛び立つのを見届けた一人。「姿形は当時と変わっていないように見える。あの小さな機体でよくアメリカまで行ったものだ」と当時に想いを馳せた。

兄弟そろって飛行機が好きで、父親に連れられ会場を訪れた高橋和希くん、佑弥くんの兄弟は「80年前の飛行機を再現したものがちゃんと飛ぶのかと思ったので、飛んでいる姿を見てびっくりした」「近くで見たときはとても大きく見えたけど、飛んでいるときは小さかった。そんなに高くまであの飛行機であがれるなんてすごい」と興奮を抑えきれない様子で話した。

80年前に海をこえたミス・ビードル号の偉業とその精神は、この日、当時を知る人の心に鮮やかに蘇り、当時を知らない人の心には新たに受け継がれた。紅い翼は時間と世代を超えて、どこまでも飛んでいく。

1父親に背負われ、まっすぐに紅い機体を見つめる
2再び三沢の空を飛び回ったミス・ビードル号
3永久の友好を誓った宣誓書を掲げる３市長
　右からスティーブ・レーシー東ウェナッチ市長、種市一正三沢市長、デニス・ジョンソン ウェナッチ市長
4当時を再現した飛行帽をかぶり、満面の笑みで記念撮影
5 6 降りしきる雨の中、ミス・ビードル号の再現飛行を見上げる日米の子どもたち

最後の飛行に飛び立つ

9月4日、市内外から約10万人の観客を集めた三沢基地航空祭が行われた。

台風12号の接近もあり、天候が心配された今年の航空祭だったが、この日はどこまでも続くような青空。集まった観客はアクロバットチーム「ブルーインパルス」などの飛行を楽しんだ。

そんな中、ミス・ビードル号は最後の飛行に飛び立った。最新の飛行機の圧倒的なスピードにはもちろん及ばないが、独特のプロペラ音を響かせ雄大に始まりの地を飛ぶ姿は、市外から訪れた80年前の偉業を知らない人々の心にも強い印象を残した。飛行を終えた後のミス・ビードル号と子どもたちが記念撮影を行うイベントには、希望者が殺到。一時間半あまりで定員の１００人を超えた。

この撮影会を企画した三沢ロータリークラブの小比券雅祥氏は、ミス・ビードル号が80年前に三沢を飛び立ったときにパイロットの世話をした当時の村長のひ孫にあたる。「ミス・ビードル号の偉業を肌で感じて将来パイロットになるような子がこの中から出てくれると嬉しい」とほほ笑んだ。

翼はどこまでも

ミス・ビードル号無着陸横断飛行80周年記念式典で種市市長は、ミス・ビードル号の記念飛行を、同機のパイロットであったクライド・パングボーン氏、ヒュー・ハーンドン氏の精神を語り継ぐためのものとし、「諦めずに挑む気持ちこそ、後世の我々へ両パイロットが遺した最大の贈り物」と熱く語った。またウェナッチ市のジョンソン市長は「今回の記念飛行が80年前の偉業と冒険魂を伝承していくものとなる」と、東ウェナッチ市のレーシー市長は「今日が三姉妹都市友好交流の更なる80年の始まりの日となることを願っている」と話した。

式典に集まった多くの日米関係者が、そして私たちが紅い翼の向こうに見るのは明日、語るのは未来。ミス・ビードル号は今回のフライトで一度翼を休めるが、私たちの心の中をどこまでも飛んでいく。

翼はどこまでも。そしてその翼によって成し遂げられた偉業は、世代を超え、国を超え、これからも絆と感動を紡ぎ続ける。

4
5
6

第2回 市長と語ろう 住民懇談会

8月31日、春日台社会福祉センターにおいて、第2回となる「市長と語ろう住民懇談会」が開催されました。

この懇談会は、三沢を活性化し住んでよかったと言えるまちにするために、地域の課題や将来像について住民の皆さんに広く意見を求め、共に歩むために行政が何をすべきかを考えるものです。今回は、西古間木地区の11町内会から会長を含めて約40人の参加者が集まり、種市市長とじかに地域活性化のための意見を交わしました。

意見交換に先駆け、種市市長は「市民と歩む協働のまちづくりのためにどのような課題・問題があるか、皆さんのご意見から三沢の実態を知り、方針を決めて支援していきたいと考えています」とあいさつし、協力と理解を求めました。

【主な質問や提案】

▼三沢駅周辺の利便性向上に向けた交通・施設等整備
▼郊外への市営住宅および自衛隊住宅の建築
▼高齢化した住民の安全対策
▼高齢者相互の団らん・娯楽場所の提供
▼高齢者の移動手段の確保
▼市営の介護施設の設置
▼春日台地区に集会所の確保
▼ご線橋開通による春日台地区への影響
▼看護・福祉系大学および高齢者介護施設の設立
▼100円バス運行経路における古間木地区部分の拡大
▼古間木地区開発をめざした商業施設誘致等

西古間木地区では、地域住民の高齢化を懸念した意見や地域を活性化するための意見が多く聞かれました。そのための手段として、道路整備やコミュニティバス路線の拡大、福祉介護施設の充実、地域を活性化させるための商業施設、いこいの施設、利便性向上のための施設などを求める声が多く、地域住民の関心が高いことが伺われました。

◀時にメモを取りながら、地域の未来の為に真剣に耳を傾ける参加者

各町内会長が代表して意見交換した後には、参加者が普段考えている地域活性化のための意見を次々と発言。その中で、春日台2丁目の吹越さんからは「アメリカ村で『人が人を呼ぶ環境』を作ってはどうか。やろうと思う気持ちが集まると活性化が進み、またそれを持続させることが大事だと思う」と三沢を活性化させるための提案がありました。

市長をはじめ、市の部課長らは、これらの意見または提案に対して、法的・技術的に現在の考えや今後の方針を丁寧に説明し、貴重な考えとして持ち帰りました。市側によると、かねての懸案事項もあり、一筋縄では実現しない問題も多くあるとのことです。しかし、多くの参加者からの意見を受け、種市市長は「杓子定規的に考えれば何もできないが、何とか方法がないか検討したいと思います」と、住民と行政が互いに理解を深め、協力し合って解決策を模索する考えを示しました。

▶「何かをやろう思う気持ちが集まることが大事」と話す吹越さん

◀普段考えている意見を直接交わし地域活性化への道を探る

今回の懇談会の内容は、今後のまちづくりのための材料として検討されていきます。貴重な質問やご意見をありがとうございました。

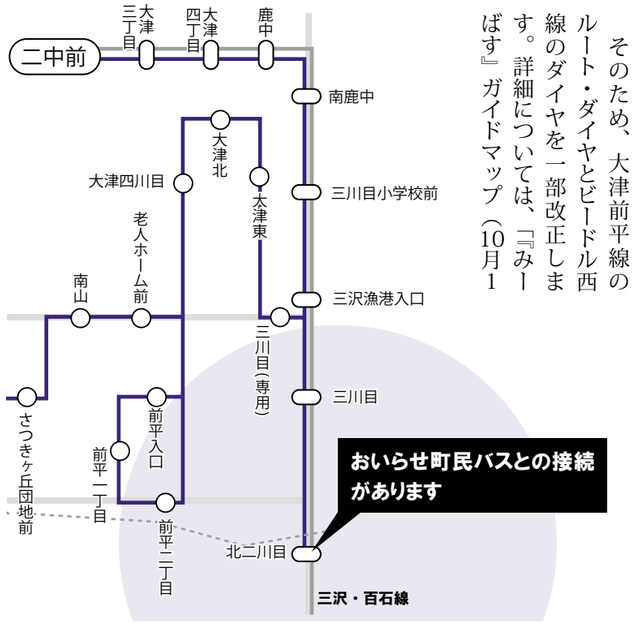
コミュニティバス「みーばす」のダイヤを一部改正しました

政策調整課（内線532）

平成23年10月1日から十和田観光電鉄㈱の運行路線である三沢百石線が一部減便されることになり、「みーばす」の大津前平線のルートを北二川目停留所まで伸ばし、おいらせ町民バスとの接続を行うことで百石までのルートが確保されました。

そのため、大津前平線のルート・ダイヤとビードル西線のダイヤを一部改正します。詳細については、「『みーばす』ガイドマップ（10月1日改正版）」をご覧ください。

※バスガイドマップは、市役所や駅のほかに公共施設やスーパー、コンビニエンスストア、温泉浴場などに設置しています。



市長室からこんにちは

長寿を祝して

先月の航空祭でのミス・ビードル号ラスト・フライトは、好天に恵まれ、自衛隊、米軍や多くの皆さんのご協力により、ブルーインパルス等のジェット機とともに無事に飛行することができました。ありがとうございました！

そして、18日の敬老会では、多くのご長寿の方々にお祝い申し上げました。実は、私も招待される側となりましたが、80歳を迎えられた方などの表彰をさせていただきました。80年といいますと、ミス・ビードル号が太平洋無着陸横断飛行という偉業を成し遂げた年にお生まれになられた方々であり、二重のお祝いを申し上げる気持ちでありました。

皆さんのご長寿は、長寿食として世界中の人々に注目される「日本の食文化」にあるのだろうと考えておりますが、米を主食に魚料理等は欠かせない日本の食文化の重要な要素であり、古来より大陸から伝わった食文化に、日本の気候風土を取り入れた先人たちの知恵であります。

このような当市の食の一部である漁業を支える漁港施設も、先月から魚介類の鮮度保持に必要な「製氷貯氷施設」が試運転を兼ねながら稼働をはじめ、スルメイカの水揚げに必要な「ベルトコンベア」と県施設の「浮桟橋」も一部供用をはじめており、急ピッチで復旧が進んでおります。

当市の復旧・復興、そして地域社会におきましても、ご長寿を迎えた皆さんの豊富な社会経験と知恵を活かし、よりよいまちづくりを目指して、三沢市の文化を築いていきたいものです。

三沢市長　種市一正

広告

三沢市人事行政の運営等の状況を公表します

総務課　人事管理係（内線２０７）

地方公務員の給与・定員管理については、地方公務員法の趣旨に沿った制度とその運用が図られ、適正な給与水準を維持すべきものであり、また、地域住民の納得と支持が得られるものでなければならないとされています。

三沢市の人事行政について広く市民の皆さんのご理解をいただくために「三沢市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、お知らせいたします。

1 職員の任免および職員数に関する状況（単位：人）

部局		職員数（H22.4.1）	退職者数（H22.4.1 ～ H23.3.31） 定年	勧奨	その他	計	採用者・部局異動者数（H22.4.2 ～ H23.3.31） 採用	他部局から	他部局へ	採用者・部局異動者数（H23.4.1） 採用	他部局から	他部局へ	職員数（H23.4.1）
市長部局	病院以外	304	△ 8	△ 1	△ 3	△ 12	0	0	△ 13	9	14	0	302
	病院	215	△ 5	△ 3	△ 6	△ 14	1	0	△ 8	27	4	0	225
教育委員会		47	△ 1	0	△ 2	△ 3	0	0	△ 6	2	6	0	46
議会事務局		6	△ 1	0	0	△ 1	0	0	△ 1	0	2	0	6
選挙管理委員会事務局		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
農業委員会事務局		5	0	0	0	0	0	0	△ 1	0	1	0	5
監査委員事務局		3	△ 2	0	0	△ 2	0	0	0	0	2	0	3
消防本部		110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110
計		693	△ 17	△ 4	△ 11	△ 32	1	0	△ 29	38	29	0	700

2 給料表別職員の給与の状況（平成 23 年 4 月 1 日現在　単位：人、円）

給料表	適用者	人数	平均給料月額	平均年齢
単純労務職	技能職員	30	321,427	49.5 歳
公安職	消防吏員	109	334,983	41.3 歳
医療職（一）	医師	19	498,342	45.4 歳
医療職（二）	薬剤師等	37	299,587	39.7 歳
医療職（三）	看護師等	161	287,755	37.2 歳
企業職（一）	水道事業職員	16	314,036	42.4 歳
企業職（二）	水道技能職員	1		
行政職	上記以外の職員	327	315,013	42.4 歳

※対象者が１人のものについては、個人情報が特定されることから記載しておりません。

3 勤務時間その他の勤務状況

職員の勤務時間は、市の条例、規則等で定められています。業種により一部異なりますが、標準的なものは以下のとおりです。

始業時刻	8:15
休憩時間	12:00 ～ 13:00
終業時刻	17：00
１日の勤務時間	７時間 45 分（月曜日～金曜日）
１週間の勤務時間	38 時間 45 分（土・日曜日は週休日）

4 職員の分限、懲戒処分の状況、服務の状況、福祉および利益の保護の状況（平成 22 年度　単位：人）

部局		処分の状況 分限	懲戒	年次有給休暇 平均取得	平均消化率	病気休暇取得人数	介護休暇取得人数	育児休業取得人数	健康診断受診者数
市長部局	病院以外	1	0	9.8 日	25.3%	18	0	4	231
	病院	3	0	4.3 日	11.5%	27	0	14	176
教育委員会		3	0	11.1 日	28.7%	1	0	0	40
議会事務局		0	0	11.6 日	28.9%	0	0	0	6
選挙管理委員会事務局		0	0	6.7 日	16.8%	0	0	0	3
農業委員会事務局		0	0	9.3 日	24.3%	0	0	1	5
監査委員事務局		0	0	11.4 日	28.5%	0	0	0	2
消防本部		0	0	10.3 日	26.3%	5	0	0	81
計		7	0	8.1 日	20.8%	51	0	19	544

5 職員の研修および勤務成績の評定の状況

（１）職員研修の状況（平成 22 年度　単位：人）

区分	主な科目	参加人数
内部研修	職員階層別研修、交通安全研修、模擬特別委員会研修 ｅラーニング研修　等	1,023
外部研修	自治大学校や市町村アカデミー、県自治研修所での研修　等	96
計		1,119

（２）勤務成績の評定の状況

職員が割り当てられた職務を遂行した業績およびその職務の遂行上見られた職員の能力・態度等について、客観的・継続的に把握し、それを基に個々の能力開発、指導育成、昇任選考等に反映させるため、年１回の職務業績評価を実施しています。

6 三沢市職員互助会 公費負担事業（平成 22 年度）

三沢市から三沢市職員互助会への公費負担はありません。

一人暮らし高齢者会食会 参加者を募集します

生活安全課（内線３１３）

三沢市赤十字奉仕団で老人福祉活動として開催する「秋の一人暮らし高齢者会食会」の参加者を募集します。心のこもった美味しい料理と各種催しを一緒に楽しみましょう。

※参加者は市のバスで送迎します。

日　　時　10 月 21 日（金）11:00 ～ 14:00
場　　所　市民の森老人福祉センター
参 加 料　無料
定　　員　30 人
参加条件　三沢市在住の 75 歳以上で 1 人暮らしの方
申込締切　10 月 13 日（木）
申 込 先　生活安全課（☎ 53-5111　内線 313）
※参加者は市のバスで送迎します。

講演会「スポーツと健康管理」

教育総務課（内線２３３）

上北地方学校保健大会三沢大会において、弘前市出身でソフトボール日本代表選手としてオリンピックで銀・銅メダルを獲得し、監督としても日本代表を金メダルに導いた斎藤春香氏による講演会を開催します。

アスリートとして世界の第一線で活躍してきた経験をもとにした貴重なお話を、ぜひお聞きください。

日　時　10 月 26 日（水）14:00 ～ 15:30
場　所　きざん三沢
演　題　「スポーツと健康管理」
講　師　弘前市教育委員会　保健体育課
　　斎藤　春香　氏
参加料　無料

小学校新入学児童の健康診断を行います

教育総務課（内線２３３）

平成 24 年 4 月に小学校に入学するお子さんの健康診断を行います。該当者には 9 月中旬～ 10 月上旬に案内を郵送しますが、案内が届かない方や案内で指定された日に受診できない方は、事前にご連絡ください。

該当者　平成 17 年 4 月 2 日～平成 18 年 4 月 1 日にお生まれのお子さん

月日	学校	受付時間	健診時間
10 月 12 日（水）	木崎野小学校	13:20 ～ 13:40	13:40 ～
10 月 14 日（金）	岡三沢小学校	13:00 ～ 13:25	13:30 ～
11 月　4 日（金）	古間木小学校	13:15 ～ 13:30	13:30 ～
11 月 10 日（木）	三沢小学校	13:10 ～ 13:30	13:40 ～
	おおぞら小学校	13:15 ～ 13:30	13:30 ～
11 月 11 日（金）	三川目小学校	13:10 ～ 13:20	13:30 ～
11 月 16 日（水）	上久保小学校	13:00 ～ 13:20	13:30 ～

広告

広告

防災訓練を実施します

総務課防災係（内線２５２）

沿岸地区を中心に、大地震と津波を想定した防災訓練を実施します。訓練当日は、住民参加の避難訓練や避難所開設・運用訓練を予定しています。また、各町内会では「地域自主防災訓練」を実施する予定ですので、積極的にご参加ください。

日　時　11月6日（日）9:00～

ＭＧプラザのリニューアルオープンイベントを開催します

産業政策課中心市街地活性化推進室（☎51-1712）

ＭＧプラザの新しい施設名称を募集したところ、多くの皆さまからのご応募をいただき、ありがとうございました。

選考の結果、決定された新名称の発表と新店舗の開店を記念した「リニューアルオープンイベント」を開催します。施設の再出発を祝う楽しいイベントにしたいと考えておりますので、たくさんの方のお越しをお待ちしております。

※当日は混雑が予想されますので、市役所駐車場か市営駐車場（有料）をご利用ください。

日　時　10月16日（日）10:00～

場　所　アメリカ広場

問い合わせ先　ＭＧプラザオフィス（☎51-1712）

協働のまちづくり講演会を開催します

広報広聴課（内線２１５）

「阪神淡路大震災から学ぶ　復興を支えたボランティアと協働」

阪神淡路大震災のボランティア経験者である講師が、震災から見た市民協働の必要性を軽快な関西弁で講演します。

日　時　11月5日（土）13:00～15:00（12:30開場）

場　所　総合社会福祉センター２階　多目的ホール

講　師　社会福祉法人 大阪ボランティア協会　常務理事　早瀬　昇　氏

定　員　100人（先着順）

参加料　無料

申し込み・問い合わせ先　広報広聴課（☎53-5111　内線215）

社会福祉法人
大阪ボランティア協会
早瀬　昇　氏

▶1955年大阪府生まれ。大学在学中に「大阪遺児を励ます会」の活動に参加したことをきっかけにボランティア活動を開始。大学卒業後、フランスやベルギーの福祉施設での研修を経て、1978年に「社会福祉法人　大阪ボランティア協会」に就職。1991年から2010年5月までは事務局長、現在は常務理事を務める。

▶阪神淡路大震災の時には「阪神淡路大震災　被災地の人々を応援する市民の会」を結成。延べ2万人余りのボランティア活動をコーディネートした。

広告

犬の登録・狂犬病予防注射のお知らせ

環境衛生課　環境保全係（内線２７９）

巡回による犬の登録・狂犬病予防注射を実施します。犬を飼っている方で、今年度まだ登録および狂犬病予防注射を行っていない方は、下記の日程を参考にして都合のよい日に受けるようお願いします。都合のつかない方は動物病院で受けることもできますが、料金は病院によって異なります。

集合注射料金　3,000円

※新規に犬の登録をする場合は、別途に登録料として3,000円がかかります。
※集合注射会場での「ふん」は飼い主が必ず持ち帰りましょう。
※首輪・鎖等は確実で安全なものを装着してからお連れください。

愛犬家の皆さまへのお願い

愛犬の移動や死亡等は必ず届出をしてください

犬の所在地や持ち主の変更、犬が死亡した場合は、飼い主が責任をもって環境衛生課に届けてください。

放し飼いをしないでください

犬の放し飼いは禁止されています。愛犬は必ずつないで他人に迷惑をかけないよう管理しましょう。

犬のふんの後始末をしてください

犬の運動や散歩中の「ふん」は飼い主が責任をもって後始末（容器等に拾い持ち帰るなど）をしてください。

月日	実施場所	時間
10月22日(土)	大津西公園前（南側）	9：00～9：10
	前平中央公園前（北側）	9：15～9：25
	三川目消防屯所前	9：35～9：45
	鹿中地域集会所前	9：50～10：00
	青森生コンクリート向い（五川目）	10：10～10：20
	淋代地区コミュニティ集会施設前	10：25～10：35
	細谷地域集会所前	10：40～10：50
	六川目社会福祉センター前	10：55～11：05
	新森中央公園前	11：15～11：25
	織笠地域集会所前	11：30～11：40
	塩釜消防屯所前	11：45～11：55
	越下地区コミュニティ集会施設前	13：00～13：10
	谷地頭農民研修所前	13：15～13：25
	高野沢地区コミュニティ集会施設前	13：30～13：35
	根井地区コミュニティ集会施設前	13：40～13：45
	浜三沢消防屯所前	14：00～14：10
	北園堀口地区コミュニティ集会施設前	14：20～14：30
	まきば公園前（西側）	14：40～14：50
	こがね公園前（南側）	15：00～15：10
	松ヶ丘・自由ヶ丘地区コミュニティ集会施設前	15：15～15：25

月日	実施場所	時間
10月23日(日)	岡三沢消防屯所前	9：00～9：15
	平畑公園前	9：20～9：30
	幸町地区コミュニティ集会施設前	9：35～9：45
	緑町公園前（北側）	9：50～10：00
	美野原地区コミュニティ集会施設前	10：05～10：15
	東町地区コミュニティ集会施設前	10：20～10：30
	日の出地区コミュニティ集会施設前	10：40～10：50
	深谷地区コミュニティ集会施設前	10：55～11：05
	泉町地区コミュニティ集会施設前	11：10～11：20
	南町地区コミュニティ集会施設前	11：25～11：35
	千代田町地区コミュニティ集会施設前	11：40～11：50
	消防署古間木出張所前	13：00～13：15
	古間木小学校前	13：20～13：30
	新町消防屯所前	13：40～13：50
	滝ノ沢公園プール横	13：55～14：10
	ミス・ビードルドーム駐車場	14：15～14：25
	松園公園管理棟前	14：35～14：45
	上下水道庁舎駐車場	14：50～15：00
	市役所裏車庫前	15：05～15：15

広告

議会だより

スピリット・オブ・ウェナッチへの感謝状贈呈
スピリット・オブ・ウェナッチを代表し、三沢市議会からの感謝状を受け取るパイロットのデイビッド・スタッドラー氏（右）

平成22年度一般会計歳入歳出決算など28議案を審議
平成23年第3回定例会

平成23年度三沢市議会第3回定例会が、9月5日から15日までの11日間の会期で開催されました。

本定例会には、平成22年度三沢市一般会計及び特別会計並びに企業会計の決算認定11件をはじめ、平成23年度各会計の補正予算案6件、条例案等10件、議員提出議案1件の計28議案が上程され、慎重審議の結果、いずれも認定・可決されました。

なお、今回の主な議案とその概要は次のとおりです。

《議員提出議案》

▼姉妹都市友好親善の貢献に対する感謝決議（案）の提出について

太平洋無着陸横断飛行80周年にあたり、ミス・ビードルによる再現飛行を行ったスピリット・オブ・ウェナッチに対し、姉妹都市友好親善への多大なる貢献に感謝の意を表するため提案され、全会一致で可決。次のように感謝状を贈った。

感謝状

スピリット・オブ・ウェナッチ殿

貴団体はこのたびの太平洋無着陸横断飛行八十周年にあたりその偉業達成の出発地である当市においてミス・ビードル号の復元機による再現飛行を成功させ姉妹都市の友好親善に多大なる貢献をされました
三沢市議会はここに感謝状を贈り深甚なる敬意と感謝の意を表します

平成二十三年九月五日
日本国青森県三沢市議会

《市長提出議案》

▼平成22年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定について

歳入総額201億7千406万6千181円対し、歳出総額195億9千47万2千256円となり、差し引5億8千359万3千925円の黒字決算となった。

▼平成22年度三沢市水道事業会計決算認定について

収益的収支決算額は、収入6億7千205万5千79円に対し、支出5億5千647万4333円となり、消費税を差し引いた純利益は、9千426万9千888円の黒字決算となった。

▼平成22年度三沢市立三沢病院事業会計決算認定について

収益的収支決算額は、収入48億1千853万2千732円に対し、支出51億4千835万349円となり、消費税を差し引いた純損益は、3億3千275万7千375円の赤字決算となった。

▼平成23年度三沢市一般会計補正予算（第3号）

国庫補助金等の決定通知等に基づく漁船漁業復興事業に対する補助金のほか、災害廃棄物処理業務委託料及び荷捌施設災害復旧事業等の予算措置並びに緊要な一般行政経費の補正。この結果、補正総額は、歳入歳出ともに17億2千640万円の増額補正で、既定額との累計では、226億3千990万円となった。

▼第三中学校新築事業建築工事請負契約の締結について

議会の議決に付すべき契約（予定価格1億5千万円以上の工事）として提案されたもの。

・契約の目的／第三中学校新築事業建築工事
・契約の方法／条件付一般競争入札
・契約金額／3億5千511万円
・契約の相手方／㈱中屋敷建設（三沢市）

《三沢市選挙管理委員及び補充員の選挙結果について》

9月15日の本会議において、平成23年10月28日付けで任期満了を迎える三沢市選挙管理委員及び補充員の選挙を行った結果、指名推選によることとされ、議長の指名により次の方々が当選された。

○選挙管理委員
河村幸利氏、織笠光子氏
佐々木仁氏、古間木勝弘氏

○選挙管理委員の補充員
橘信弘氏、坂本幸子氏
苫米地強氏、米内山敏光氏

▼本定例会で審議された全議案

議案番号	件　名	議決結果
議員提出議案第６号	姉妹都市友好親善の貢献に対する感謝決議（案）の提出について	原案可決
認定第　１号	平成２２年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第　２号	平成２２年度三沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第　３号	平成２２年度三沢市食肉処理センター特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第　４号	平成２２年度三沢市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第　５号	平成２２年度三沢市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第　６号	平成２２年度三沢市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第　７号	平成２２年度三沢市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第　８号	平成２２年度三沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第　９号	平成２２年度三沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第１０号	平成２２年度三沢市水道事業会計決算認定について	
認定第１１号	平成２２年度三沢市立三沢病院事業会計決算認定について	
議案第５５号	平成２３年度三沢市一般会計補正予算（第３号）	原案可決
議案第５６号	平成２３年度三沢市食肉処理センター特別会計補正予算（第２号）	
議案第５７号	平成２３年度三沢市下水道事業特別会計補正予算（第１号）	
議案第５８号	平成２３年度三沢市介護保険特別会計補正予算（第１号）	
議案第５９号	平成２３年度三沢市水道事業会計補正予算（第１号）	
議案第６０号	平成２３年度三沢市立三沢病院事業会計補正予算（第１号）	
議案第６１号	三沢市税条例等の一部を改正する条例の制定について	
議案第６２号	三沢市スポーツ振興審議会に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第６３号	三沢市テレビ共同受信施設設置条例を廃止する条例の制定について	
議案第６４号	三沢市ケーブルテレビジョン施設の設置及び管理に関する条例の制定について	
議案第６５号	三沢市交通安全防犯会議条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第６６号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第６７号	第三中学校新築事業建築工事請負契約の締結について	
議案第６８号	財産の取得について	
議案第６９号	財産の取得について	
議案第７０号	財産の取得について	

一般質問 ／ 議案質疑

９月８日、９日の本会議では、８人の議員が市政に対する一般質問を行い、１人の議員が議案に対する議案質疑を行いました。
主な質問項目とそれに対する市側の答弁の概要は次のとおりです。

奥　本　菜保巳　議員

Q　一人暮らしの高齢者等を対象とした「福祉安心電話」の普及率と周知方法は？

A　「福祉安心電話」は、機器本体、携帯用のペンダント、火災警報器の３種類の機器を設置し、緊急時の支援を行うシステムであり、一人暮らしの不安を和らげるとともに、社会福祉協議会による安否確認や各種相談を行うことにより、地域で安心して生活できるよう支援する制度である。普及率は、設置対象者である 65 歳以上の一人暮らしの方 1,090 人に対し、8.4％（設置台数 92 台）であり、設置時の平均年令は約 82 歳となっている。また、周知方法としては、在宅介護支援センターの相談員が直接訪問して周知を図っているほか、地域の民生委員にも支援いただいている。さらに、福祉事務所の窓口相談、ホームページ等の掲載や、介護事業所を通して周知している。

※ 上記ほか「基地内放射性廃棄物への対応について」「原発事故に伴う農水産物の安全対策について」等の質問がありました。

鈴　木　重　正　議員

Q　市民参加や協働のまちづくりを推進していく上で市民に対する行政情報の提供をどのように考えているか？

A　当市では、市民と行政が対等・平等の関係で協力し合う「協働のまちづくり」実現に向けて取り組んでいるところであり、行政情報の提供については、市民との情報の共有を図るためにも極めて大切であると考えている。市民参画・協働のまちづくりを考えていく上で行政情報の提供の基本的な考えとしては、公正性、透明性、信頼性を踏まえ、積極的に行うことにより、市民の行政への参画意識を促すこととなり、ひいては協働のまちづくりが進むものと考えている。今までもできる限り情報提供に努めてきたが、今後もあらゆる機会を捉えて、市民ニーズの把握に努めながら情報提供したい。

※ 上記ほか「ホームページ等における行政情報の提供について」「各審議会、委員会等の行政情報の提供について」の質問がありました。

瀬　崎　雅　弘　議員

Q　災害時における市民への情報提供手段としてコミュニティＦＭ放送に取り組む考えは？

A　コミュニティＦＭ放送は、地域の特色を生かした番組や地域住民の参加番組等、通常放送番組のほか、災害時には、行政が市民に対して確かな防災・災害情報等を提供することにより、地域情報の発信拠点として、安心・安全な街づくりに貢献できるものと認識している。この導入にあたっては、放送局の運営形態、専門性を有するスタッフの確保や専用機材及び施設の整備、さらには維持費など多額の費用を要するため、その費用対効果や通常時の運用方法等、多くの課題を有している。このことから、現在、三沢市復興計画の策定を行っている三沢市復興委員会でこれらの課題を整理しながら検討している。

※ 上記ほか「三沢市地域防災計画の見直しに係る経緯について」「災害時の避難に係る普及啓発について」の質問がありました。

藤　田　光　彦　議員

Q　市が発注する工事や業務委託の入札に高齢者雇用の条件をいれてはどうか？

A　現在、市が発注する工事等は、透明性の確保、公正な競争の促進、適正な施工の確保、不正行為の排除の徹底という、入札・契約適正化の基本原則に基づき、入札及び契約事務を行っており、入札参加者の資格要件の設定にあたっては、この基本原則に基づき、必要な条件を付すべきものと考えている。

このことから、入札の参加条件に高齢者の雇用等の社会貢献の項目を組み込むことは、民間事業者の雇用関係にまで介入することとなり、本来の目的を損なう恐れがあることから適当ではないと考えている。

※ 上記ほか「少子高齢化を踏まえたまちづくりの長期的展望について」の質問がありました。

野　坂　篤　司　議員

Q　市として、メガソーラー施設及び太陽光パネル製造工場等の誘致に取り組む考えはないか？

A　再生可能エネルギー特別措置法の施行により、今後、各地域において、メガソーラー設置計画や関連企業誘致活動が活発化するものと考えられる。

当市においても、今年度の県に対する重点事業に関する要望において、最重点要望事項の一つとして強く要望したところであり、今後設置を予定している「（仮称）三沢市新エネルギー推進協議会」が中心となり、市民、教育研究機関、事業者、行政が協働連携をとりながら、今後のまちづくり計画や地権者との調整等、種々の問題を解決し、誘致の実現に向け取り組みたい。

※ 上記ほか「三沢市体育協会の法人化について」「三沢市体育功労賞及び文化功労賞等の推薦のあり方について」の質問がありました。

天　間　勝　則　議員

Q　市の公共施設が有する機能をＭＧプラザの空き区画に一部移行し、国際交流を基本とした有効利用を図る考えは？

A　商業関係でない特定の団体等がＭＧプラザ内の賃貸スペースを経常的に占有することは現在のところ計画していないが、現状において、臨時的に使用する場合は、空きスペースを利用いただいている。また、同施設内に当市が設置するコミュニティスペース部分は、地域住民の生活文化の向上・教養の啓発、商業地域全体の活性化を目的とした各種イベント等の開催が可能となっている。

同施設の有効利用については、アメリカンテイストを基本方針としたテナント誘致を進めるとともに、公共部分のさらなる有効活用による集客の相乗効果が図られるよう努めたい。

※ 上記ほか「スポーツ大会誘致について」「三沢市立三沢病院の応対について」の質問がありました。

春　日　洋　子　議員

Q　大腸がん検診無料クーポン券事業を導入する考えは？

A　今年度、厚生労働省より、がん検診受診勧奨事業の一つとして、子宮頸がん、乳がん検診に加え、新たに大腸がん検診を対象とした「がん検診推進事業」を実施するよう通達があった。具体的には、40 ～ 60 歳までの５歳刻みの年齢の対象者に対し、無料クーポン券、検診手帳、受診案内を送付し、受診希望者には検査キットを送付して検査を実施するというものである。

このことから当市では現在、大腸がん無料クーポン券事業を開始するため、今年度対象の約 2,800 人に対し、個別通知による受診勧奨の準備を進めているところである。

※ 上記ほか「空き家再生等推進事業活用について」「学校施設の防災機能向上について」等の質問がありました。

太　田　博　之　議員

Q　いじめや不登校等に対応する上で当市のスクールサポーターの現状は？

A　教育相談センターに教育相談員と適応指導員を２人ずつ、各中学校には心の教室相談員を１人ずつ、各小中学校には特別支援教育支援員を 23 人、市内全小中学校に対応するスクールカウンセラーを第一中学校に１人、ソーシャルワーカーを岡三沢小学校に１人、それぞれ配置し、子ども及び保護者からの教育相談に対応している。

いじめや不登校は、学校だけの対応には限りがあり、保護者や地域、関係機関が共通理解の上、共同歩調で取り組むことが不可欠であることから、関係機関で組織する「いじめ問題連絡協議会」や「生徒指導連絡協議会」等が、保護者や地域と情報交換を密にして対応にあたっている。

※ 上記ほか「シチズンシップ教育について」「あるべき選挙管理委員会について」の質問がありました。

山　本　弥　一　議員

議案質疑

Q　平成２３年度三沢市一般会計補正予算（第３号）の災害復旧費の補正により、災害以前と比べどの程度復旧が図られるか？

A　東日本大震災による漁港関連施設等の被害額は、８月末現在で約 45 億 3,200 万円となっており、当市では、震災後に漁業関係者から一日も早い施設の復旧が要望されたことから、第１号専決予算から、今回計上した第３号補正予算の約９億 6,000 万円を含め、約 14 億 9,000 万円を震災施設の復旧費用として予算措置し、復旧事業を進めている。主な施設の復旧状況としては、９月１日から製氷貯氷施設が稼働を始め、さらにはスルメイカを荷揚げするためのベルトコンベアと浮桟橋も一部供用している。今回までに計上した復旧関連予算を執行した上で、平成 23 年度末の復旧率は、約 78％となる見込みである。

※ 上記ほか「災害復旧に係る市費の負担について」の質疑がありました。

傍聴のお願い

議会では、市民生活に直結した重要な問題が審議されています。市民の皆様が選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも議会の傍聴にお越しくださいますようお願いします。

▲傍聴席から見た議場内の様子

なお、傍聴席は 50 席と数に限りがありますので、団体等で傍聴される方は、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。

常任委員会所管事務調査報告（要旨）

総務文教常任委員会

委員長　堀　光雄

去る8月29日に委員会を開催し、十和田観光電鉄の鉄道への支援について調査しました。

今回は、8月18日に行われた、沿線の自治体や高校等で構成される「十和田観光鉄道活性化協議会」での席上において、十和田観光電鉄から、沿線自治体からの支援がなければ今後鉄道の存続は困難であるとの考えが示され、それを基に十和田市、三沢市及び六戸町に対し、本年度から10年間で約5億2千万円の財政支援を要請されたとのことから、これを受けての今後の市の対応等について確認を行いました。

市からは、十和田観光電鉄から提示された経営状況や将来予測の資料に基づき、支援要請の内容が説明され、これに対し出された委員からの意見は、いずれも支援に対し否定的なものが主であり、バスへの転換等代替手段を模索する内容や、一民間企業に対する支援に難色を示すものもありました。また、この問題は当市にとって非常に重要な問題でもあることから、当委員会だけでなく、他の議員からも意見を聞く考えはないかとの質問も出され、これに対し市では、今後、他の議員や市民からも広く意見を聴取し、それを踏まえた上で他の自治体との協議を行い、9月末までに支援の可否を十和田観光電鉄へ示したいとのことでした。

▲沿線自治体の財政支援が求められている十和田観光電鉄

当委員会では、最終的に市民が納得のいく形での解決策が見出されるよう、今後も動向に注視し、必要に応じて助言等を行ってまいります。

民生常任委員会

委員長　西村　盛男

去る8月1日に委員会を開催し、先般発生した消防の公金着服事件に関し、その内容と今後の対策について調査しました。

消防からの説明によると、今年7月、平成22年度決算の危険物製造所等許可及び検査受理簿を確認したところ、決算額と一致せず、領収したはずの手数料の一部が会計課に入金されていないことが判明。また、緊急消防援助隊活動経費の残金も不足があり、これらの状況を受けて内部調査したところ、管理課経理担当者による公金横領が発覚したとのことでした。

市では今後の再発防止策として、消防では現金受領を極力なくし、指定金融機関に直接納付するように改善するとともに、通帳・鍵の管理や定期内部点検の強化等を図り、職員の指導・監督の徹底を行うとのこと。また、消防に限らず市役所全体の公金取扱事務についても実態調査を実施しており、公金の管理体制の改善・強化を図っていくとのことでした。

なお、当該職員は、事件発覚後、着服金を全額返済し、7月22日付けで懲戒免職処分となっておりますが、今後は、刑事告訴する方針であるとのことでした。

委員からは、チェック体制の甘さや職員の倫理感を強く指摘する意見が出されたほか、刑事告訴については、既に社会的制裁を受けていることや、年齢や今後の更生の可能性を考慮して、慎重に検討するよう要望も出されました。

今回の事件は、市民の信頼を大きく失墜させる大変な問題であり、二度とあってはならないことです。

市においては再発防止策の徹底はもちろんのこと、公務員としての自覚を再認識し、市民の信用回復に全力で取り組むようお願いするものであり、当委員会としても、執行機関の行財政運営や事務処理等が適正に行われるよう監視に努め、今後とも重い責任を持って活動してまいります。

トピックス

世界初太平洋無着陸横断飛行80周年記念

「セフィロ／そよ風」議場コンサート

三沢市議会では、市民に開かれた親しみやすい議会を目指し、多くの市民の方々に気軽に足を運んでいただくきっかけにと、不定期で議場コンサートや議場講話を開催しています。

今回は、9月5日の第3回定例会の開会に先立ち、市内コーラスグループ「セフィロ／そよ風」の皆さんによる議場コンサートが行われました。

コンサートでは、三沢で生まれ育ち、三沢の歴史・背景をこよなく愛する方々が制作した歌『木崎野牧　絵巻歌』や太平洋無着陸横断飛行80周年を記念した『ミス・ビードル号　翔び上がれ』の合唱などが披露され、普段は緊迫感が漂う議場内がこの時ばかりは和やかな雰囲気に包まれていました。

お知らせ

定例会の開催について

次回の定例会は**12月上旬**を予定しています。

詳しい日程が決まり次第、ホームページに掲載します。

傍聴記録

平成23年第3回定例会

傍聴者数　**延べ66名**

（前回比＋14名）

お問合せ

三沢市議会事務局

電話兼ＦＡＸ：53―5500

メール：gikai@city.misawa.lg.jp

特別委員会中間報告（要旨）

基地対策特別委員会

委員長　小比類巻　正規

去る7月27日及び28日、三沢基地周辺対策に関する国への要望活動を行いました。

今回は、27日に東北防衛局、総務省及び県選出国会議員の各事務所を訪問。28日には、民主党陳情・要請対策担当の松浦参議院議員及び防衛省の広田防衛大臣政務官を訪問し、それぞれ要望しました。

具体的な要望内容は、防衛省関係では、三沢飛行場第2滑走路の早期着工と航空機産業等の企業集積についてをはじめとする8項目。総務省関係では、基地交付金等の改善について、それぞれ要望しました。特に、第2滑走路については、既に国から整備着工は困難との回答を受けておりますが、再検討を強く要請したほか、基地関連工事等の受注に関する地元業者の優遇や基地従業員の雇用面での優先等、地域振興に対する支援についての要望や、地域の分断問題が残る集団移転については、声を大にして、その改善を訴えてきました。

今回の要望先において、共通して訴えてきたことは、当市は基地との共存共栄を唱え、日米が優良な関係を保っている点では日本一の街だと自負しているということ。しかしその影には、多くの障害に対し、市民が相当の我慢をもって生活しているという事実があることです。

当委員会は、市民の民生安定と福祉向上を図ることを目的に今後も最大限の努力をもって、活動してまいります。

◀大塚副市長（右）から要望書を受け取る広田防衛大臣政務官（中央）

中心市街地活性化対策特別委員会

委員長　舩見　亮悦

去る9月13日に委員会を開催し、MGプラザ運営の進ちょく状況について調査しました。

市からは、集客の取り組みとして、これまでに開催したイベント等による集客の効果が報告され、三沢まつりで約5千人増、航空祭で1千100人増、売上げもそれぞれ普段の約10倍に及んだとのことでした。また今後は、駐車場拡充のため、周辺の空き地調査やアメリカ広場を臨時的に活用できないかなど、内閣府や関係機関と協議していくとのことでした。

次にテナント誘致の状況については、現在2店舗と交渉中であるとのことであり、このほか2階に輸入雑貨等を取り扱う店舗をテスト営業する計画があるとのこと。また、3階には9月12日に日米保育園が開設されたとのことでした。

その他、10月6日に予定される臨時株主総会では、MGプラザの新名称等が決定されるとの報告もありました。

委員からは、アメリカ広場を多目的化し、駐車場として利用してはどうかとの提案や、もっと商店街の方にも集客の取り組みや工夫をしてもらってはどうかなどの意見が出され、これに対し市からは、集客の向上には、テナント誘致が必須であり、その誘致交渉において駐車場の確保が絶対条件となっていることから、できるだけ早期に駐車場確保に努めたいとのこと。また、商店街に対しては、積極的に協力を要請し、意識啓発にも努めているとのことでした。

当委員会では、今後も中心市街地活性化基本計画を着実に推進すべく、様々な研究・助言等を行ってまいります。

▶委員に説明する市担当職員

2011年10月番組表（10月8日～11月7日）

		月	火	水	木	金			土	日
		10/10・17・24・31	10/11・18・25	10/12・19・25	10/13・20・27	10/14・21・28			10/8・15・22・29	10/9・16・23・30
		11/7	11/1	11/2	11/3	11/4			11/5	11/6
6		モールオブTV					6		モールオブTV	
7		週刊マック	マックワイド［再］月曜日放送分	マックワイド［再］火曜日放送分	マックワイド［再］水曜日放送分	マックワイド［再］木曜日放送分	7		マックワイド［再］金曜日放送分	週刊マック
8		手話ニュース					8	30		手話ニュース
9	30	求人情報					9	30	求人情報	モールオブTV
10		モールオブTV					10		モールオブTV	
11		サイエンスチャンネル	18日 白雪姫[再] 9・23・30日 11月1日 11:00～ サイエンスチャンネル 12:00～ マックワイド	サイエンス・チャンネル			11		サイエンスチャンネル	9日 11:00～サイエンスチャンネル 12:00～週刊マック 16日 白雪姫[再] 23日 11:00～ 大空への夢がつないだ絆[再] 12:00～週刊マック 30日 11:00～2011酒まつり[再] 12:00～週刊マック
12		週刊マック		マックワイド［再］火曜日放送分	マックワイド［再］水曜日放送分	マックワイド［再］木曜日放送分	12		マックワイド［再］金曜日放送分	
1	30	手話ニュース	マックワイド［再］月曜日放送分				1	30		週刊マック
		求人情報							求人情報	手話ニュース
2		モールオブTV					2		モールオブTV	
3							3			
4		週刊マック	マックワイド［再］月曜日放送分	マックワイド［再］火曜日放送分	マックワイド［再］水曜日放送分	マックワイド［再］木曜日放送分	4		マックワイド［再］金曜日放送分	週刊マック
5	30	手話ニュース					5	30	求人情報	手話ニュース
6		サイエンス・チャンネル					6		サイエンス・チャンネル	
7	30	マックワイド ▼市内の出来事▼インフォみさわ▼情報宅配便(文字放送)▼マックコーナー ▼心の詩▼やさい週間情報▼ごみ収集日程▼市内の天気＆空席情報					7	30	週刊マック 月～金曜日放送分の市内の出来事を一挙放送	
									手話ニュース	
8	30	求人情報	13・27日 11月3日 8:00～ 求人情報 8:30～ サイエンスチャンネル 9:00～ マックワイド 20日 白雪姫[再]			求人情報	8	30	8日 8:00～平泉の光、世界へ 8:30～サイエンスチャンネル 9:00～週刊マック 15日 白雪姫 22日 6:00～ 大空への夢がつないだ絆[再] 9:00～週刊マック 29日 8:00～2011酒まつり 9:00～週刊マック 11月5日 8:00～サイエンスチャンネル 9:00～週刊マック	9日 8:00～ 平泉の光、世界へ[再] 8:30～ サイエンスチャンネル 9:00～ 週刊マック 16・23・30日 11月6日 8:00～ サイエンスチャンネル 9:00～ 週刊マック
		サイエンス・チャンネル				サイエンスチャンネル				
9		マックワイド［再］午後７時放送分	マックワイド［再］午後７時放送分	マックワイド［再］午後７時放送分		マックワイド［再］午後７時放送分	9			
10	30	求人情報			マックワイド［再］午後７時放送分		10	30	週刊マック	
									手話ニュース	

※その日放送されるマックワイド市内の出来事の内容は、EPG(電子番組表)で確認できます。※予告なく番組が変更されることがあります。

三沢市ケーブルテレビジョン 自主放送

11ch マックチャンネルガイド 2011.OCT 10

国際交流子ども音楽劇 白雪姫

放送日程 10月15日(土)夜8時～
再放送 10月16日(日)昼11時～
10月18日(火)昼11時～
10月20日(木)夜8時～

三沢市の主催により上演された、日米交流音楽劇「白雪姫」。
出演しているのは、市内に住む日米の子供たち４０人。

演技経験のない子供たちが演技そしてダンスに挑戦します。
アメリカ人の日本語での演技にも注目！

マックコーナーの内容が充実しました！

マックワイドの中で放送！

マック スポーツ

大会出場など、目標に向かって取り組む市民の姿を紹介します。

おじゃまします

三沢暮らしをより楽しく、充実させる市内の公共施設の情報を中心に紹介します。

マックンのスマイル通信

ニュースとはまた違った視点で市内の様々な出来事を紹介します。

平泉の光、世界へ

岩手が誇る平泉の文化遺産を紹介。関係者へのインタビューを交えながら世界遺産登録までの道のりを振り返ります。

放送日程 10月8日(土)夜8時～
再放送 10月9日(日)夜8時～

制作局：一関ケーブルネットワーク

日本酒の祭典 2011酒まつり

放送日程 10月29日(土)夜8時～
再放送 10月30日(日)昼11時～

全国各地から約９００銘柄が吟醸酒のふる里「東広島市」に集結。酒蔵通りでのイベントなど見どころ満載。
近年、２０万人の人出で賑わいます。

配信元：(株)サテライトコミュニケーションズネットワーク
制作局：(株)東広島ケーブルメディア

大空への夢がつないだ絆

～太平洋無着陸横断飛行 80周年メモリアルフライト～

再放送
10月22日(土)夜 8時～
10月23日(日)昼11時～

ケーブルインターネット有線接続コース～4Mサービス～

電話回線が不要
電話回線が不要なのでマックテレビを受信されていれば、申し込み可能です！

ウィルスメールチェック無料
安心してご利用いただけるよう、事前にメールのウィルスチェックを行う無料のサービスです！

全て込み！
機器レンタル料
プロバイダー料
メール・HPアカウント

月額 3,150円

お問合せ先：三沢市ケーブルテレビジョン ☎51-1255(国際交流教育センター内) HPアドレス http://www.mctvnet.ne.jp

出来事通信 できごとつうしん

自然を感じて歩こう

市民ウォークの集い　　9月11日

自然を楽しみながらウォークキングする参加者たち▶

自然の中をウォーキングすることで健康増進を図り、参加者同士が会話をしながら共に楽しむことで親睦の輪を広げ、元気になることを目的に開催されたこの集い。雨が時折降る曇り空の下、スタッフも含めこの日集まった400人の参加者たちは、市民の森総合運動公園を出発し、約3.5kmの「ゆっくりコース」と約6kmの「急いでコース」に分かれ、小田内沼や小川原湖沿いの自然に触れながらゴールを目指しました。

特に「ゆっくりコース」には親子での参加が多く、道端の草木や虫たち、穏やかにたたずむ湖面やさわやかに流れる風を感じながら、自然の美しさや大切さを思い出しているようでした。

それぞれのコースを歩ききって戻ってきた市民の森総合運動公園では、バーベキューがお出迎え。お腹を空かせた参加者たちは、さらに親睦を深めながら美味しそうに焼けた肉や魚介に舌鼓を打っていました。

言葉を超えて通う心

国際交流子ども音楽劇「白雪姫」　　8月27日

公会堂大ホールで開催されたこの劇は、昨年2月の英語音楽劇が好評だったことから、三沢市が主催となり日本語版で開催したもの。小1から高3までと幅広い年齢の子どもたちが、昨年11月から厳しい練習を積み、今回の本番を迎えました。

お芝居の部分はすべて日本語で行われたこの劇。主要キャストを演じたアメリカ人の子どもたちの苦労は大変なものだったと思いますが、キャスト全員が舞台にあがっての最後のあいさつでは、観客から大きな拍手を浴び、お互いに笑い合っていた子どもたち。言葉の壁を超えた本当の「交流」がそこにはありました。

◀英語の歌やタップダンスなども織り交ぜ、観客を最後まで楽しませました

子どもたちの笑顔を守る

交通安全指導ボランティア　　8月24日

岡三沢小学校付近の横断歩道でボランティアによる下校児童への交通安全指導が行われました。

これは、NPO法人マン・パワーが市と「協働のまちづくり市民提案事業」として実施したもので、この他にも市内通学路の横断歩道への黄色い旗設置や「止まれ」のスッテカーを貼るなどの活動を行っています。この日は、交通量が多く、下校する子どもたちも多いという同地点に職員2名を配置し、横断歩道を渡るときの注意点などを指導していました。午後2時半ごろになると一勢に下校してくる子どもたち。たくさんの車が行き交っていましたが、指導員の丁寧な指導を受けた子どもたちは交通ルールを守り、黄色い旗を持って安全にそして笑顔で家に帰っていきました。

◀みんなで少しずつできることをして子どもたちの笑顔を守っていきましょう

未来のチームを担う選手たち

JAおいらせ杯市内少年少女スポーツ大会　　9月17日

9月17日から秋の新人戦が市内小学校を会場に開催されました。これはJAおいらせが、明日を担う地区の子どもたちの健全育成を主旨に開催する野球と女子バレーボールの秋の新人戦。各部7チームから未来のチームを担う選手たちが登場し、先輩や父兄が見守る中で日ごろの練習の成果をかいっぱい発揮しました。

野球の部では、激しい投打の攻防や最終回の逆転劇など、ドラマチックな展開に好プレーが続出。女子バレーボールの部では、予選リーグから決勝トーナメントまで激戦が繰り広げられ、決勝戦は岡三沢小VBC対木崎野小VBC。白熱した接戦を制し、木崎野VBCが逆転優勝を果たしました。

◀これからも競い合う好敵手たちと交流を深め、さらなる成長を期待しています

初めて触れる、大地のチカラ

初芝富田林高校農業体験修学旅行　　9月3日

大阪初芝学園・初芝富田林高等学校の2年生が修学旅行の一環として市内農家で農業体験をしました。

これは、農家に宿泊して作業を体験することで、生徒に農業に対する理解を深めてもらおうと実施しているもので、今年で16回目。三沢市グリーン・ツーリズム推進協議会では、総勢80人の生徒を2泊3日の日程で23戸の農家で受け入れ、酪農や長いも、にんにく、ニンジンなど日頃の農作業を体験してもらいました。

谷地頭の新堂学さん宅では、ニンジンの間引き作業を体験。ほぼ農作業初体験の生徒たちは、250m以上の長い畝に土まみれになりながら真正面から挑みました。初めて触れる大地の恵みの尊さに、大きな収穫をしていったことでしょう。

◀農業の厳しさを感じるとともに、大地が育む作物の尊さを感じた生徒たち

一番強いのは誰だ!?

日米アームレスリングFESTIVAL　　9月18日

この大会は、主催者である㈱三沢青年会議所が「地域に利益をもたらす記念事業」として昨年の第1回を開催したところ、大きな反響があったことからミス・ビードルドームにおいて再び開催されたものです。日米の老若男女約120人がその腕に意地と誇りを掛け、熱戦・激戦を繰り広げました。

競技は男女各階級の個人戦と団体戦で争われ、子どもや女性の部でも好勝負が続き、観客も大興奮！特に一般男性の決勝戦では、日米の屈強な男たちがその太い腕に血管を浮かばせ、顔を赤く染めながら力の限り激突し、その激しさは競技台がギシギシと悲鳴をあげるほど！勝負が終わると、言葉は無くとも認め合った相手と固く握手を交わす光景に、地域に新たな絆を生み出す本大会の魅力を感じました。

◀雨空にもかかわらず周囲の観客も汗ばむほどの熱気に包まれていました

チームワークで勝利を目指す

アメリカンパークカップジュニア3on3　　9月11日

中心市街地活性化の拠点となるアメリカ広場へ多くの人に集まってもらおうと、MGインターナショナル㈱が企画する3on3のバスケットボール大会が開催されました。

この日はあいにくの悪天候となったため予定していたアメリカ広場では開催できず、替わって会場となった古間木小学校体育館に市内外から男女合わせて28チームの子どもたちが集まり、熱い戦いを繰り広げました。

第1回ながら多くの子どもたちが参加し、応援する観客を巻き込んで大きな盛り上がりをみせたこの大会。主催のMGインターナショナル㈱は、今後も継続的に開催していきたいとのことです。

◀大人顔負けのドリブルとパスワークでゴールを重ねていく子どもたち

みさわ情報ねっと

市役所　☎53−5111

市民無料相談

問：問合わせ　場：開催場所

●法律相談（法テラス青森主催）　5日（水）・19日（水）、11月2日（水）　13時～16時
問 法テラス青森（☎050-3383-5552）
場 市民相談室　※要電話予約・先着6名・受付条件あり

●法律相談（社会福祉協議会主催）　18日（火）　13時～16時
問 場 社会福祉協議会（☎52-3270）
※要電話予約・先着6名

●法律相談（市主催）　25日（火）　13時～16時
問 広報広聴課（内345）
場 市民相談室　※要電話予約・先着6名

●人権・行政相談　11日（火）　10時～15時
問 広報広聴課（内345）
場 市民相談室

●仕事の悩み相談　19日（水）　13時～16時
問 場 就職支援センター（☎27-6005）
※要電話予約

●労働条件・年金相談　13日（木）　13時～16時
問 場 就職支援センター（☎27-6005）
※要電話予約

●人権・困り事相談　第2・4木　9時30分～15時
問 人権・困り事相談所（☎52-7083）
場 ふれあいの館

●教育相談　毎週月～金　8時15分～16時
問 場 国際交流教育センター内教育相談室（☎53-6060）

●家庭児童・婦人相談　毎週月～金　9時～16時
問 場 家庭福祉課（内381）

●育児・子育て支援相談　毎週月～金　8時30分～16時30分、毎週土　8時30分～11時30分
問 場 三沢地域子育て支援センター（☎53-1176）

●育児・子育て支援相談　毎週月～金　9時～16時30分
問 場 みさわファミリーサポートセンター（☎50-1518）

●消費者生活相談　毎週月～金　9時～17時
問 県消費生活センター八戸相談室（☎0178-27-3381）

●警察安全相談　随時　電話相談可
問 三沢警察署総務課（☎53-3145　内217）

●犯罪被害者支援相談　毎週月～金　9時～16時30分
問 青森県地方検察庁被害者ホットライン（☎017-722-1234）

●がん・緩和ケア・医療相談　毎週月～金　9時～16時
問 場 三沢市立三沢病院地域医療連携室内（☎51-1375）

●介護・福祉相談　毎週火　10時～15時
問 場 三沢市立三沢病院地域医療連携室内（☎51-1375）

倒壊等建物の職権登記の調査

立会等ご協力をお願いします

青森地方法務局では、震災により倒壊等滅失した建物について、被災者の登記申請の負担軽減を図るとともに、被災地の速やかな復興に資するため、倒壊建物等の滅失登記を職権で行います。つきましては、現地調査の際に立会等をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いします。

期　間　11月25日㈮まで
※調査員は法務局の腕章・名札を着用しています。

▼問い合わせ　青森地方法務局登記部門筆界特定室（☎017−776−9042）

屋内温水プール

休館日のお知らせ

衛生管理のために清掃と水の入れ替えを行いますので次の期間はご利用できません。

期　間　10月17日㈪～21日㈮

▼問い合わせ
屋内温水プール（☎59−3850）

催し

日米交流親子たこ揚げ会

たこ揚げで親子の絆を深めよう

と　き　10月22日㈯10時～12時
ところ　墓地公園
講　師　日本の凧の会
津軽支部長　櫻庭　義造　氏
定　員　日米各15組（先着順）
参加料　500円（材料費）
申込締切　10月20日㈭

▼申し込み・問い合わせ
㈶公園緑化公社（☎51−2820）

第32回営大祭

お気軽にお越しください

学習成果の展示や各種模擬店、農畜産物販売、農作業体験ツアー、就農相談など。

と　き　10月29日㈯9時～16時、30日㈰9時～15時
ところ　青森県営農大学校（七戸町字大沢48−8）

▼問い合わせ　県営農大学校（☎62−3111）

広告

図書館からのお知らせ

はまなすの会　語り聞かせ

と　き　10月15日㈯10時～
ところ　3階第1会議室

秋のおはなし会

と　き　11月5日㈯10時～
ところ　1階こども室

書庫探検ツアー

普段は入ることができない書庫を開放します。

と　き　11月5日㈯10時～15時
ガイド付ツアー
①10時30分～②14時30分～
ところ　地下1階ロビー

▼申し込み・問い合わせ
図書館（☎53−6040）

航空科学館イベント情報

Mrマサック・サイエンスショー

ABA「スーパー実験室」でおなじみのMrマサック先生のトリックは必見です！

と　き　10月16日㈰
①11時～②14時～
ところ　AVホール
参加料　無料

▼問い合わせ
県立三沢航空科学館（☎50−7777）

市民文化祭

ぜひご鑑賞・ご観覧ください

展示部門

と　き　11月4日㈮～6日㈰
種　目　きのこ、盆栽、美術華道、文芸　他

舞台部門

と　き　10月23日㈰～11月27日㈰
種　目　邦楽、ダンス、舞踊バレエ、ジャズ　他
ところ　公会堂
入場料　無料

▼問い合わせ　中央公民館（☎53−8711）

ぎんなん寮　秋の感謝セール

シクラメンなどを安価で提供

観葉植物や鉢花などをオークションセール！先着100人には鉢花か骨付きフランクフルトをプレゼント！

と　き　10月22日㈯・23日㈰9時～15時
ところ　寮内ハンズパーク

▼問い合わせ　公立ぎんなん寮（☎56−5121）

講座・教室

市民大学一般教養講座

講座を受講しませんか

と　き　10月8日㈯14時～
ところ　公会堂3階
演　題
「日本霊異記を読む　奈良時代の不思議なお話あれこれ」
講　師　八戸短期大学名誉教授　三村　三千代　氏
受講料　無料

▼問い合わせ　中央公民館（☎53−8711）

講演・合唱「鳥人達の軌跡」

講演と合唱で軌跡をたどります

と　き　10月21日㈮10時～12時
ところ　ホテルグランヒル
演　題
「木崎野牧から ミス・ビードルへ」
講　師　元三沢市教育長　成田　睦憲　氏
合　唱　セフィロ／そよ風
受講料　無料

▼問い合わせ
退公連三沢分会　伝法（☎57−1496）

普通救命講習会

いざというときのために

と　き　10月30日㈰9時～12時
ところ　消防本部2階講堂
定　員　30人（先着順）
8人以下の場合は中止
内　容　成人の心肺蘇生法やAED使用方法など（テキスト代）
受講料　200円（テキスト代）

▼申し込み・問い合わせ
消防署救急係（☎54−4212内線218）

市民公開講座

「おなかのがん」

と　き　10月15日㈯14時～16時
ところ　国際交流センター　ホール
参加料　無料

▼問い合わせ
三沢市立三沢病院管理課（☎53−2161）

募集

エアロビクス同好会

無料体験に参加しませんか？

ボクササイズとソフトヨガを取り入れ、ストレス解消やシェイプアップに効果大！

と　き　毎週火曜日10時～11時
ところ　働く婦人の家
持ち物　運動靴、バスタオル、ハンドタオル、水

▼申し込み・問い合わせ
エアロビクス同好会　山本（☎090−6786−3272）

東日本大震災被災者応援ツアー

参加者を募集します

震災により三沢市から「罹災証明書」の交付を受けた方を対象に、秋田県北を巡るバスツアーを開催します。

と　き　11月6日㈰9時～17時
ところ　康楽館、きりたんぽ発祥まつり
定　員　10人（多数の場合抽選）
参加料　無料
申込期間　10月3日㈪～14日㈮
※直接または電話でお申し込みください。
※当選者には10月24日㈪までに通知します。

▼申し込み・問い合わせ
北奥羽開発促進協議会［政策調整課］（内線532）

スポーツクラブみさわ

後期会員を募集します

親子一緒に楽しくスポーツをして友達を増やそう！

と　き　10月～平成24年2月第2・4土曜日
ところ　淋代団体活動センター　他
内　容　サッカー、スケート、ボウリング　他
対象者　小学生以上
会　費　2000円
保険代　600円（子ども）
※クラブを運営するスタッフ会員も募集しています。

▼申し込み・問い合わせ
市民スポーツ課（☎内線372）

フライデーツアー

参加者募集

米軍基地内の消防隊、F16戦闘機、放送局、統合クラブ、室内遊技場等の中から1カ所見学します。どこへ行くかは当日のお楽しみ！

と　き　10月28日㈮
11月18日㈮
定　員　30人（先着順）
参加料　無料
申込方法　電話で氏名、年齢、職業、住所、電話番号をお知らせください。
申込締切　各開催日の10日前

▼申し込み・問い合わせ
観光物産課（☎内線359）

健康流水教室

日　　時　11月8日～24日の火曜日・木曜日
　　14:00～15:00（全6回）
場　　所　屋内温水プール
対　　象　18歳以上
定　　員　15人（先着順）
受 講 料　2,000円（施設使用料）
申込締切　10月31日（月）17:00
※当日は水着、水泳帽をご準備ください。
★申し込み・問い合わせ先
　屋内温水プール（☎59-3850）

デジカメ講座

日　　時　10月20日・27日の木曜日
　　10:00～11:30（全2回）
場　　所　三沢アイスアリーナ会議室
定　　員　20人（先着順）
受 講 料　1,000円（アルバム代含む）
申込締切　10月14日（金）
※当日はデジタルカメラ（貸出あり）をご準備ください。
★申し込み・問い合わせ先
　（財）自治振興公社（☎51-1930）

カメラ講習会

日　　時　10月30日（日）9:00～15:30
場　　所　小川原湖青年の家、小川原湖公園周辺
定　　員　20人（先着順）
受 講 料　無料
申込締切　10月25日（火）
※当日はデジタルカメラ、昼食、筆記用具、雨具等をご準備ください。
★申し込み・問い合わせ先
　公立上北視聴覚ライブラリー（小川原湖青年の家内）
　（☎56-2393　FAX 56-5042）
　E-mail　k-libra@juno.ocn.ne.jp

マイクロソフトオフィス スペシャリスト2007資格取得講座

日　　時　10月24日（月）～11月15日（火）のうち平日16日間 10:10～15:50
場　　所　県地域共同就職支援センター三沢コーナー
対 象 者　離職者、非正規労働者、離職予定者など
定　　員　15人（応募動機による選考あり）
受 講 料　無料（テキスト代など一部負担あり）
申込締切　10月18日（火）

★申し込み・問い合わせ先
　県地域共同就職支援センター（☎27-6005）

ファミリースケート教室

日　　時

11月12日（土）	14:45～16:15
11月13日（日）	16:30～18:00
11月23日（水・祝）	16:30～18:00
12月 3日（土）	14:45～16:15
12月 4日（日）	16:30～18:00

（全5回）

場　　所　三沢アイスアリーナ
対 象 者　子ども（年長以上）1人と大人1人で1組（家族追加可）
定　　員　15組程度（先着順）
参 加 料　3,000円
　　（追加の場合は1人につき1,000円増）
申込方法　保護者またはご家族の方が直接三沢アイスアリーナでお申し込みください。
申込締切　11月11日（金）17:00
※当日は手袋、帽子、防寒具、スケート靴をご準備ください。
　（貸スケート靴をご利用の方は別途300円が必要です）

★申し込み・問い合わせ先
　三沢アイスアリーナ（☎57-2100）

サイクリング応援デー

市民の森までサイクリング！
市民の森運動公園まで自転車でお越しの方にプレゼントを差し上げます。
日　　時　10月10日（月・祝）9:00～15:00
場　　所　市民の森総合運動公園管理棟
内　　容　▷スポーツドリンク（全員）
　　▷読売ジャイアンツ特製タオル（抽選30人）
　　▷ジャミットグッズ（抽選1人）

★申し込み・問い合わせ先
　ＮＰＯ法人マン・パワー（☎57-2322）

ふれあい広場

ネイチャークラフトや紙ヒコーキ、焦がし絵、レザークラフト、七宝焼など。創作・体験活動で交流しよう！
日　　時　11月13日（日）9:00～15:15
場　　所　公立小川原湖青年の家
定　　員　200人（先着順）
参 加 料　1,000円（創作費・昼食代）
申込締切　11月4日（金）17:00
※当日は上履き、防寒着をご準備ください。

★申し込み・問い合わせ先
　公立小川原湖青年の家（☎56-2393）

先人記念館企画展「三沢の鉄道展」

　時代が進み変わっていくもの。
　それでもずっと大切にしたい「つながり」があります。
　地域発展に大きな役割を果たしている三沢の鉄道の歴史や魅力をぜひご覧ください。
期　間　10月7日（金）～11月20日（日）
場　所　先人記念館
※10月4日（火）～6日（木）は臨時休館します。
★問い合わせ先　先人記念館（☎59-3009）

企画展連携イベント「三沢駅へ行こう！」

　三沢駅の歴史とともに、現在の三沢駅を体験していただくイベントを開催します。「私たちの駅」を見て触って感じてください。
日　時　10月29日（土）10:00～15:00
　　（遊具・出店は16:00まで）
場　所　三沢駅、東口イベント広場

★問い合わせ先　先人記念館（☎59-3009）

自閉症フォーラム in MISAWA

　あなたにも知ってほしいから。映画や疑似体験セミナーを通して自閉症の世界を体験してみませんか？
日　　時　11月5日（土）10:00～
場　　所　国際交流教育センター
入 場 料　500円
★問い合わせ先　お助けマンクラブ　松江（☎51-4620）

10:00～	障がい児・障がい者の美術・書道作品展
13:00～	映画・疑似体験セミナー　開場・受付
13:40～	自閉症疑似体験セミナー（はちのへキャラバン隊）
14:55～	映画「星の国から孫ふたり」

県営農大学校　学生募集

課　程	専　攻	定員	修業年限	受験資格	受付期間	試験日程
畑作園芸課程	野菜・花き	70人	2年	高卒（見込含）または同程度の者	推薦選考 10月3日（月）～13日（木）	推薦選考 11月9日（水）
果樹課程	りんご・一般果樹					
畜産課程	酪農・肉牛・養豚				一般募集 12月8日（木）～15日（木）	一般募集 平成24年1月18日（水）

経費　授業料：年額118,800円、入校検定料：2,200円、諸経費650,000円
★問い合わせ・願書請求先　県営農大学校　教務研修課（☎62-3111）

県立八戸工科学院　学生募集

科　名	定　員	修業年限	内　容	試験日程
機械システム工学科	25人	2年	ＮＣ工作機械・アルゴン溶接・ＣＡＤ等	出願受付 10月7日（金）～11月10日（木） 試験日 11月17日（木）
設備システム工学科	20人		空調・給排水衛生・電気設備等の設計・施工・管理	
自動車システム工学科	30人		２級自動車整備士の養成	
制御システム工学科	25人		制御対象装置の設計・製作・プログラミング・保守	

年間経費　授業料：年額118,800円（年4回の分納）その他：教科書、作業服、用品等に2年間で8～10万円程度必要です。
※資格取得受験料等は実費となります。
★問い合わせ・願書請求先　県立八戸工科学院　学生係（☎0178-28-6811）

10月の保健だより

休日救急診療

10月 2日	みさわクリニック	53−3739
10月 9日	米田内科小児科医院	53−8233
10月10日	柿崎外科医院	57−1151
10月16日	すずき小児科内科クリニック	52−6555
10月23日	こおり耳鼻科クリニック	53−3387
10月30日	鳴海外科医院	53−3056
11月 3日	得居泌尿器科医院	50−1333
11月 6日	さんあい眼科クリニック	53−8721

※17時以降の夜間救急診療は当番制ではありません。

健康診査・保健相談

	内容・対象	月 日	時 間	場 所
母子	妊婦歯科健診	10月18日(火)	受付 13:15 ～ 13:30	保健相談センター
	＊母子手帳を持参してください。			
	4カ月児健康診査	10月18日(火)	受付 12:45 ～ 13:15	
	＊希望の保護者は歯科健診を受けることができます。 ＊ブックスタート事業（絵本の読み聞かせやプレゼント）があります。			
	6～7カ月児健康相談	10月18日(火)	受付 9:30 ～ 10:00	
	9～10カ月児健康相談	10月26日(水)	受付 9:30 ～ 10:00	
	1歳6カ月児健康診査 （平成22年2月生まれの幼児）	10月27日(木)	受付 12:45 ～ 13:15	
	2歳児健康診査 （平成21年5月生まれの幼児）	10月26日(水)	受付 12:45 ～ 13:15	
	3歳児健康診査 （平成20年3月生まれの幼児）	10月19日(水)	受付 12:30 ～ 13:00	
	療育相談	10月26日(水)	継続受付 9:30 ～ 10:30 新規受付 10:30 ～ 11:00	
	＊問合せ：上十三保健所 ☎23-4261			
	▼乳幼児健診では、母子健康手帳・バスタオル等を持参してください。 1歳6カ月児・2歳児・3歳児健康診査では診査票等を忘れずに。 体調不良や感染症等の時は受診をご遠慮ください。			
成人老人	栄養相談	随時受付（予約制）		保健相談センター
	一般健康相談	毎週月・木曜日	9:00 ～ 16:00	
	こころのケア相談 面接相談	10月 6日(木)	9:00 ～ 16:00	
	こころのケア相談 電話相談	10月19日(水)	10:00 ～ 12:00 13:00 ～ 16:00	
	＊面接は3日前までに要予約 ☎57-0029（専用電話）			
	女性健康相談	10月18日(火)	受付 10:00 ～ 10:30	上十三保健所（十和田市）
	精神保健福祉相談	10月19日(水)	受付 13:00 ～ 14:00	
	＊問合せ：上十三保健所 ☎23-4261			

献血のお知らせ

日	時	場 所
10月15日(土)	10:00 ～ 11:45 13:00 ～ 16:00	ビードルプラザ（北側駐車場）
10月20日(木)	10:00 ～ 12:00	おいらせ農業協同組合
	13:30 ～ 16:00	三沢警察署

病気やケガなどで輸血を必要としている方の生命を救うため、献血のお願いをしています。　問い合わせ…保健相談センター☎57-0707

10月は食生活改善普及月間

食欲の秋！でも好きなだけ食べていると…！

今や男性の2人に1人、女性の5人に1人がメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）またはその予備軍であると言われ、多くの方に生活習慣の見直しが必要とされています。

ご自分にとってちょうどよい体重（適正体重）を維持しながら、おいしい秋を迎えましょう。

適正体重を知りましょう

適正体重（kg）＝身長（m）×身長（m）×22

肥満は万病のもと。特に内臓に脂肪のつく「内蔵型肥満」は「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常症」などの生活習慣病を招きます。体重が少なすぎる場合も、骨密度や免疫力の低下が心配です。
適正体重を意識した生活を送りましょう。

適正体重に近づけましょう

体重（内臓脂肪）1kg＝7000kcal

1カ月に1～2kgのゆっくりしたペースでの減量がリバウンドを防ぎます。
体重の増減は、食べる量（摂取エネルギー）と動く量（消費エネルギー）のバランス。毎日の体重測定を習慣付けて、食べる量と動く量の調整を行いましょう。

たくさん動いて程よく食べる

できることを1つずつ取り入れてみましょう。

運動編
▶1日20～30分の有酸素運動が効果大
▶徒歩で買い物に行くなど、歩く距離を増やす
▶スーパーでの買い物も遠くに駐車すれば運動に
▶スクワットや軽い筋トレで基礎代謝アップ
食事編
▶1日3食しっかり食べて間食予防
▶野菜・海藻・きのこでボリュームアップ
▶食事はよく噛み、腹八分目を意識しよう
▶油を使わず、煮る・ゆでる・蒸す料理も加えて

大腸がん検診無料クーポン券を活用しよう

4月1日現在40・45・50・55・60歳の方に対し、大腸がん検診を無料で受けられるクーポン券と検診手帳を発行し、既に対象の方には個別通知しています。ぜひこの機会にがん検診を受けましょう。

転入した方や通知が届いていない方はお問い合わせください。

問い合わせ…保健相談センター☎57-0707

秋の火災予防運動

10月17日（月）から23日（日）までの1週間、県下一斉に「秋の火災予防運動」が実施されます。この運動は、空気が乾燥し火災の起こりやすい時期を迎えるにあたり、火災の予防について考え、大切な命や財産の損失を防ぐことを目的として毎年行われています。

この機会に、住宅用火災警報器や消火器の設置について、ご家庭で話し合ってみてはいかがでしょうか。

統一標語「消したはず　決めつけないで　もう一度」

★問い合わせ　消防本部予防課（☎54-4279）

地震体験、放水体験、消防車両展示、はしご車搭乗体験、119番通報体験など、他にも楽しい体験コーナーをたくさん用意してお待ちしています。

日　時　10月23日（日）12:00～15:00
場　所　コミュニティマーケット（ミス・ビードルドーム）
※老朽化した消火器を1本1,000円で回収します。
★問い合わせ　消防署（☎54-4212）

高齢者への「肺炎球菌ワクチン」接種費用を助成します

接種希望者は、下記の助成対象者であることを証明できるものをお持ちになり、保健相談センターまでお越しください。

対 象 者　接種日に三沢市に住所を有する①②に該当する方
①県後期高齢者医療広域連合被保険者
②生活保護受給者で75歳以上の高齢者および65歳以上で一定の障害を有する方
助成内容　接種費用の8,000円を上限に助成
助成期間　平成24年3月31日（土）まで

「肺炎球菌」って何？

肺炎球菌は、身の回りにある細菌やウイルスなどの微生物のひとつです。体力が落ちている時や高齢になって免疫力が弱くなっていると肺炎や気管支炎などの症状を引き起こします。60歳以上の肺炎患者の約5割が肺炎球菌による感染が原因とされています。

★問い合わせ　保健相談センター（☎57-0707）

ワンポイント消防

住宅用火災警報器を点検していますか？

▶住宅用火災警報器にほこり等が付くと火災を感知しにくくなります。月に1回程度は乾いた布などでふき取りましょう。
▶住宅用火災警報器からぶらさがっているひもを引くまたはボタンを押すなどして、月に1回程度は作動点検をしましょう。
▶住宅用火災警報器は、電池が切れそうになると音で知らせてくれます。取扱説明書を確認して電池を交換してください。

住宅用火災警報器の設置（寝室、階段等）がまだのご家庭は早急に設置しましょう。　消防本部予防課

連載 Q&A 国民年金 question and answer お答えします！

Q 扶養親族等申告書とは？

A 老齢（退職）年金は、所得税上「雑所得」とされ、所得税がかかります。課税の対象となる人には、毎年10月下旬から11月上旬に日本年金機構より「扶養親族等申告書」が送付されますので、送付時にお知らせする提出期限までに必ず提出してください。

※提出がない場合は、各種控除が受けられず所得税が多く徴収されることになり、結果的に受け取る年金額が少なくなりますので、ご注意ください。

※次の方は課税の対象にならないため「扶養親族等申告書」は送付されません。

○障害年金・遺族年金を受給されている方
○老齢（退職）年金を受給している65歳未満の方で年金額が108万円未満の人
○老齢（退職）年金を受給している65歳以上の方で年金額が158万円未満の方

▼詳しくは、八戸年金事務所『0178−43−7368』へ。
▼日本年金機構のホームページもご覧ください。
http://www.nenkin.go.jp/

2011・10
No.684

発行　三沢市役所　編集　広報広聴課
〒033-8666　青森県三沢市桜町1-1-38
☎0176-53-5111　FAX52-5655
Eメール　koho@city.misawa.lg.jp

1 CATV 情報課でケーブルテレビのナレーション録音を体験した商業高校生を取材 2 重く慣れないカメラでも懸命に撮影 3 撮影や文章作成、レイアウト編集に至るまで自分の手で作り記事を完成させた２人

三沢商業高等学校　就業体験

「働く」ことへの意識の変化

8月24日から26日までの3日間、県立三沢商業高校の2学年生徒197人が、市内外にある70の事業者で就業体験を行った。

この体験は同校で毎年続けられ今回で12回目。スーパー等の小売店から幼稚園、病院、自衛隊など、多様な職業を体験する最も大きな目的は、生徒が実体験を通して「働く」という意義を掴むことだ。

広報広聴課でも横濱めぐみさんと工藤夕実さんの2人が「仮想広報みさわ」の1ページを作成するために取材から記事作成、校正といった一連の作業を体験。腕章を身に着け、初めて使う一眼レフカメラと手帳を持った2人の高校生記者が市内を駆け回った。取材では話が続かずコミュニケーション能力の大切さを感じ、動き回る子どもたちの撮影に苦労した2人だが、記事を作り上げた後の表情は達成感に満ちていた。

学校に戻った生徒たちは、互いの体験を報告し合い、共通点あるいは相違点を見つけ、さらに他の職業を追体験する。進路の参考にする者、学生であることを実感する者など受け取り方は三者三様だが、共通して漠然としていた「働く」ということへの意識の変化があったとのことだ。この体験から、より具体的になった将来の夢に向かって歩き出すことだろう。

広報みさわに対するご意見やご感想、取り上げて欲しい行事や話題など、皆様からの情報をお待ちしています。ご連絡は広報広聴課まで。

県立三沢商業高等学校 ２年
横濱 めぐみ さん

▲２人の高校生記者が作り上げた「仮想広報みさわ」の１ページ。
詳しい内容はホームページでご覧ください。
トップページ＞できごと通信＞ 2011 年 8 月＞三沢商業高校就業体験

県立三沢商業高等学校 ２年
工藤 夕実 さん

人口と世帯数　－８月末現在－　※（　）内は前月との増減比較

■人口 42,237 人（＋ 222 人）・男 20,831 人（＋ 138 人）・女 21,406 人（＋ 84 人）　■世帯数 18,571 世帯（＋ 122）

広報みさわ 10 月号は 14,000 部発行し、1 部あたりの印刷製本費は 55 円です。